

一般社団法人 日本原子力学会 標準委員会
第 83 回 原子燃料サイクル専門部会 議事録

1 日 時：2020 年 7 月 27 日（月）13:00～15:25

2 会議方式：Web 会議

3 出席者（順不同，敬称略）

（出席委員）高橋部会長，田村幹事，浅野，大間，小畑，片岡，久野，斉藤，坂下，白井，高橋，立川，藤田，柳原，山本（15 名）

（欠席委員）佐々木，林，元辻（3 名）

（オブザーバー）加藤委員（1 名）

（オブザーバー欠席）中島委員（1 名）

（委員候補者）澤田 健太（日揮），武田 聖司（日本原子力研究開発機構），山本 武志（電力中央研究所）（3 名）

（常時参加者）浅見（1 名）

（欠席常時参加者）川村（1 名）

※今回は，任期切れとなっているためオブザーバー扱いとした。

（説明者）【LLW 廃棄体製作・管理分科会】梅原幹事，柏木委員，【標準活動基本戦略タスク】鈴木委員（延べ 3 名）

（事務局）田老，牧野（2 名）

4 配付資料

FTC83-0-1 第 83 回原子燃料サイクル専門部会議事次第（案）

FTC83-0-2 第 83 回原子燃料サイクル専門部会の開催について（案）

FTC83-1 第 82 回原子燃料サイクル専門部会議事録（案）

FTC83-2-1 原子燃料サイクル専門部会委員の選任，委員再任及び各分科会委員の選任承認に関するメール審議の結果について（修正版）

FTC83-2-2 人事について

FTC83-3-1 【本報告】「浅地中ピット処分対象廃棄体の製作要件及び検査方法（ドラム缶形態）（案）」について

FTC83-3-2 【本報告】（概要）浅地中ピット処分対象廃棄体の製作要件及び検査方法（案）ドラム缶形態

FTC83-3-3 “浅地中ピット処分対象廃棄体の製作要件及び検査方法（案）標準一式

FTC83-4-1 標準の転載許諾対応に関するメール審議の依頼について

FTC83-4-2 標準の転載許諾対応に関するメール審議の結果について

FTC83-5-1 「標準作成ガイドライン」の改定提案

FTC83-5-2 標準作成ガイドラインの新旧比較について

FTC83-5-3 JIS Z 8301:2019 と標準作成ガイドラインとの比較検討

FTC83-6 分科会活動状況

参考資料

FTC83-参考 1 原子燃料サイクル専門部会委員名簿（案）

FTC83-参考 2 原子燃料サイクル専門部会出席実績

5 議事内容

(1) 第83回原子燃料サイクル専門部会の開催について

今回は、諸般の事情により Web 会議開催となったことから、事務局から FTC83-0-2 に基づき、開催に当たって専門部会運営細則を遵守して会議運営を行うために、注意事項も含め、会議の定足数、決議方法等 Web 会議の運営にかかる事項について説明があった。審議の結果、決議方法で挙手には、“意見付き保留”がないため当該資料を修正することを条件に、提案とおりに決議された。

(2) 出席者確認

事務局から開始時、委員 20 名中、2 名が任期切れのためオブザーバーとし、18 名中 13 名が出席しており、成立に必要な定足数（12 名以上）を満足している旨報告された。（その後、報告・審議案件前に 2 名が参加し、15 名の出席となった。）

(3) 前回議事録（案）の確認（FTC82-1）

前回議事録（案）について事前に配付されていた内容で承認された。

(4) 人事（FTC83-2-1, FTC83-2-2）

事務局から FTC83-2-1 に基づいて、原子燃料サイクル専門部会委員の選任、委員再任及び各分科会委員の選任承認に関するメール審議の結果、以下のとおり可決された旨の報告があった。

なお、当メール審議の結果報告において、専門部会委員再任等については、一括で集計しているため、個人ごとに纏めたものに修正することになった。

【専門部会】

1. 決議事項

(1) 委員選任

澤田 健太	日揮
武田 聖司	日本原子力研究開発機構
山本 武志	電力中央研究所

(2) 委員再任

中島 健	京都大学	2020.06～2022.05
加藤 和之	原子力損害賠償・廃炉等支援機構	2020.07～2022.06
田村 明男	原子力安全推進協会	2020.09～2022.08
久野 悟	中部電力	2020.09～2022.08
高橋 秀治	東京工業大学	2020.09～2022.08

2. 確認事項

(1) 委員選任

田中 忠夫	日本原子力研究開発機構	2020.02.29
中澤 俊之	三菱マテリアル	2020.03.31
小山 正史	電力中央研究所	2020.04.30
久保 美和	日揮	2020.04.30

【分科会】

○LLW 放射能評価分科会

1. 承認決議事項

(1) 委員選任

大畑 仁史 原子力安全推進協会

2. 確認事項

(1) 委員退任

北島 英明 原子力安全推進協会 2020.02.27

根本 修 東京電力ホールディングス 2020.04.30

(2) 常時参加者登録解除

乾 実紗希 日本原子力研究開発機構 2020.02.10

(3) 常時参加者登録承認

村上 昌史 日本原子力研究開発機構

(4) 主査選任

高橋 浩之 東京大学

(5) 副主査退任

高橋 浩之 東京大学 2020.02.27

(6) 副主査指名

相澤 直人 東北大学

(7) 幹事退任

北島 英明 原子力安全推進協会 2020.02.27

(8) 幹事指名

大畑 仁史 原子力安全推進協会

(9) 代表者選任

高橋 浩之 東京大学

○ウラン・TRU 取扱施設クリアランスレベル検認分科会

1. 確認事項

(1) 委員退任

田中 宏和 三菱マテリアル 2020.03.31

○LLW 処分安全評価分科会

1. 確認事項

(1) 委員退任

武田 聖司 日本原子力研究開発機構 2020.01.31

根本 修 東京電力ホールディングス 2020.04.30

また、事務局から FTC83-2-2 に基づいて以下の提案があり委員の退任が確認された。

【分科会】

○臨界安全管理分科会

1. 確認事項

(1) 委員退任

井上 政春 九州電力 2020.06.30

(5) 報告・審議

1) 【報告・審議】(FTC83-3-1, FTC83-3-2, FTC83-3-3)

“浅地中ピット処分対象廃棄体の製作要件及び検査方法－ドラム缶形態編－”標準原案に関する最終報告

(担当：LLW 廃棄体製作・管理分科会 梅原幹事，柏木委員)

LLW 廃棄体製作・管理分科会 梅原幹事，柏木委員から FTC83-3-1, FTC83-3-2, FTC83-3-3 に基づき，題記の題記標準原案について説明があり審議の結果，標準原案に関して 30 日間の当専門部会の書面投票を実施することが決議された。

主な質疑は以下。

Q：追加された落下強度ですが，輸送などでは，傾けて落下させているが，試験は水平なのか？

A：埋設施設での落下は，廃棄体の定置時の落下事故で，把持機能は，水平把持のため，水平で試験されたものと考えます。

Q：浅地中処分の前提条件の1つである埋設処分深度の「70mより浅い深度」は，そんなに深く埋めるのかと思われてしまうのでは？

A：深度70mは，法令上の区分深度です。ただ，読み手に誤解を生じないように，実際の深度に修正します。

Q：審査で追加された分配係数は，どのような形で標準に示されているのか？

A：附属書Bの中に，「受入要件」の一項目として示しています。

2) 【報告】(FTC83-4-1, FTC83-4-2)

“ピット処分及びトレンチ処分対象廃棄物の放射能濃度決定に関する基本手順:20XX”の転載許諾の状況の標準委員会メール審議結果について

(担当：事務局)

事務局から FTC83-4-1, FTC83-4-2 に基づき，題記標準の転載許諾に関する標準委員会メール審議結果，一部修正して当該標準の発行について可決されたことまた，当該標準は 5 月 25 日に発行された旨の報告があった。

主な質疑は以下。

C：本結果報告は，3件を一括で報告しているが，個別に報告すべきである。

A：今後は，1件ごとに分けて報告する。

3) 【報告】(FTC83-5-1, FTC83-5-2, FTC83-5-3)

標準作成ガイドラインの見直しについて

(担当 標準活動基本戦略タスク 鈴木委員)

標準活動基本戦略タスク 鈴木委員から FTC83-5-1, FTC83-5-2, FTC83-5-3 に基づき，題記標準ガイドラインの見直しについて説明があった。改定にあたりトップダウンだけではなく，分科会の意見も聞くべきとの強い意見が，用語辞典 WG での見直し検討の中であったことから，専門部会で説明して分科会の意見も聞くことにしたものの。分科会への連絡は事務局がまとめて行う。御意見は事務局に連絡頂くようお願いがあった。

主な質疑は以下。

Q：確認の期限は？

A：9月の標準委員会に一式を提案するので，それまでに間違った解釈，ダメなところ，解説は不要といった御意見があれば，早く出していただきたい。9月の標準委員会で，例えば1か月のコメント募集となれば，同様な期限で再度確認をお願いする。現時点は，トップダウンだけでなく分科会の意見も聞くべきという意見を踏まえ，説明するもの。

4) 【報告】(FTC83-6)

原子燃料サイクル専門部会 分科会活動状況について

(担当：各分科会代表者等の関係者)

分科会の代表者から FTC83-6 に基づき，分科会の活動状況について報告があった。

6 その他

次回は，2020年11月5日(木)13:30からの開催に決定した。

以上